

公表

事業所における自己評価総括表 児童発達支援

○事業所名	くれよんきっず		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 22日		～ 令和 8年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 22日		～ 令和 8年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが自分のペースで成長できるよう、集団療育と個別支援を取り入れ活動をしている。	就学に向けて、日常動作や学習の基礎、社会性など個々に合わせた支援を行っています。 子どもの特性や発達段階を考慮、理解し、日常生活や集団生活でつまづきやすい部分を丁寧に支援しています。	保護者や関係機関との連携を図りながら、一貫性のある支援へつなげていく。
2	5領域に沿ったプログラムを毎月作成し、運動、創作活動、集団ゲームなど多様な活動プログラムを行い、子どもたちが楽しめる活動の提供を行っている。また、毎月のイベントでは、保護者や子どもたちの意見、要望も伺いながら様々な体験ができる企画をたてている。	様々なプログラム、活動を通して子どもたちの成長につなげていけるよう支援しています。また、活動を通して楽しいと感じられる体験や成功体験を重ねていけるよう支援しています。	今後も子どもたちが楽しく活動できるよう、新しい取り組みも含め様々なプログラムを提供していく。また、安心・安全な環境作りも引き続き行っていく。
3	保護者との定期的な面談や相談支援を通じて、子どもの状況を共有し、保護者の安心感を高めている。また、保護者会の開催等にて保護者同士の交流の機会を設けている。	保護者のニーズや関りを共有、理解し、子どもだけではなく、保護者支援にも取り組んでいます。	保護者との情報共有と信頼関係の構築を図り、安心感や満足度につなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園や幼稚園等との連携は図っているが、児童同士の交流はすくない。	イベントや外出レクでの交流はあるが、交流をメインとしての活動は積極的に行っていない。個人情報や安全面の配慮等を考えると難しい。	事業所主催の地域交流イベントの企画や、近隣保育園や幼稚園等との連携を図るなどし、地域の方々と交流する機会を設けられるよう検討していく。
2			
3			